

## 縦割り班活動



豊橋市立松葉小学校

PTA 広報部

令和4年度 No.3

5月17日、待ちに待った縦割り班活動が行われました。  
掃除を終えた昼放課に、各班に分かれてさまざまな遊びをしました。

教室では、なんでもバスケット、しんげんちゲーム、  
自己紹介ビンゴ、ばくだんゲーム、を行いました。

校舎の外では、ドッジボール、ドロケイ、しっぽと  
りなどを行いました。

始まる前には掲示板を見ながら自分の班活動を確認  
かめ、赤白帽子をかぶり楽しそうに外に走っていく  
子どもたちもいました。



### 【 教室での様子 】

活動が始まる時には、どこか緊張した様子だった1年生も、高学年のお兄さん・お姉さんに説明してもらい、少しずつ笑顔が増えていきました。



### 【 校舎の外での活動 】

外での活動は大盛り上がり。ドロケイでは、限られた活動場所をめいっぱい使って、かけまわる子どもたちの笑顔があふれていました。ドッジボールでは、低学年に強いボールがあたらないように、かばう姿も見られました。



守下公園では、**赤とえんじ**、二つの班でしっぽとりを行っていました。

赤白帽子でチームをわけ、青いビニールテープのしっぽを取り合います。元気に走り回り、すでにしっぽを取られてしまった子からは「**赤勝て！白勝て！**」と両方のチームを応援する様子が見られました。転んで泣いている子を助ける姿もあり、みんなで楽しもうという思いが伝わってきました。

また、体育館では全面をコートとして使い、思い切りドッジボールを楽しむ子どもたちの姿がありました。友達と一緒に『ぞうきんがけ』のまねをする児童もいて、体育館ならではの面白い光景が見られました。



楽しい縦割り班活動も、あっという間に終了です。

高学年は1年生に「次の授業はなにか。間に合うかな」と声をかけ、教室まで付き添っていました。また、「低学年の子が次にやりたい遊びはなんだろう。」と考えている子もいました。相手の立場に立って、なにか困っていることはないか、どうしたら楽しいのかを考えることができていると感じました。

### 児童たちの感想



低学年へインタビューしました。

「わからないこともあったけど、楽しかった。(ドッジボール)」

「お兄さん、お姉さんがやさしかった。(ビンゴ)」

高学年にもインタビューしてみました。

「**下級生に、言うことを聞いてもらうのがいちばん大変です。それから、コロナ禍なのでできるゲームが限られてしまいます。みんなが楽しくできるよう、班のみんなを考えています。**」とのことでした。

いろいろな工夫と、思いやりの心にあふれた縦割り班活動でした。

